

家族の大切な言葉

シアトル日本語補習学校 中学部二年 橋本 麻耶

「元気」という言葉は私たちの家族ではとても大事な言葉です。母の家族は日本にいて、父の家族はアメリカのあちらこちら遠い所にいるので、なかなかお互いの様子が分かりません。なので、電話をかけたリメールをしたりして元気を確かめ合うのです。普段何気なく使っているこの言葉も、実はとても意味深くとても大切な言葉だと最近もつと強く思うようになってきました。

「おばあちゃん元気？」

「元気よ。」

そういう短い会話で私はほっとします。

この夏祖父が亡くなって、祖母は一人になってしまいました。母は、毎日祖母に電話をかけていますが、祖母が言う「元気よ。」と言う声のトーンで様子をうかがっているようです。その声が落ち込んでいると、「元気」と聞いてもとても心配になるそうです。先日私が話した時、祖母は私の声を聞いただけで祖父を思い出し、涙ぐんでしまいました。その日も「元気」と言っていたのに祖母の様子がそんな感じだったので、私も悲しくなっていました。

私は祖父のおかげで、「元気」という言葉の大切さが分かりました。健康でいると言う「元気」と言う言葉の意味の力強さです。

祖父は九ヶ月間入院し、口からはなにも食べられず、点滴だけで栄養を摂っていました。抗がん剤や放射線治療を受けて大変な入院生活でした。私たちが会いに行くとき元気に、

「お寿司が食べたい。」

「うなぎが食べたい。」

と毎日違う食べたい物を言っていました。祖父はそのころはまだ元気になれないのはわかっています。入院中もいつもなるべく元気に振る舞い、いつもニコニコしていました。がんなので元気じゃないのは分かっていますが、

「元気、元気。」

と言ってくれると私たちは本当にほっとしたものです。でもそれが祖父の私たちに対する精一杯の思いやりだと思ふととてもつらかったです。治療はつらかったらうにきつと痛いところもあったらうに、でも私たちに心配させないように弱まっていた力を振り絞って「元気だよ。」って言うてくれていたのでしょうか。

今、祖父は天国で元気にいることでしょうか。大好きなカラオケを歌って、おいしい物をたくさん食べているよね。そして、私たち家族を温かく見守っていると思います。今でも病院のベットの上で、

「元気だよ。大丈夫。」

と言ってくれた祖父の顔が忘れられません。今でもきつとニコニコして、

「元気だよ。」

と声をかけてくれると思います。

私の家族は「元気」という言葉を大事にしています。その言葉を言い合うことによ

り寂しい時に支え合ったり、うれしい時に一緒に笑えたりできるからです。家族や友達を思いやり、元気を確かめ合う、とても大切にしていきたい言葉です。祖父が亡くなった今、ますますその言葉が大事になりました。家族みんなもその一言をとても大事に使うようになりました。私もこれからはいつも元気に明るく「元気だよ。」と言えるようにしたいと思います。

皆さんは「元気」のような家族で大事にしている言葉はありますか？